

行政の窓

令和元年度 北海道の木材関連施策について

本道のカラマツ・トドマツなどの人工林は本格的な利用期を迎えており、道では、森林資源の循環利用を推進し、林業・木材産業の成長産業化や木育活動の推進を図るため、以下の施策に重点的に取り組みます。

○原木の安定的な供給体制の構築

間伐や路網、高性能林業機械の導入に対する支援などにより、森林施業の低コスト化や生産性の向上を図るとともに、原木の効率的な流通体制や製品の供給体制の構築に向けた地域提案によるモデルの実証を進めるなど、木材の供給力強化の取組を進めます。

○地域材の利用の促進

道産CLTの普及や技術者の育成、道産木材製品の道外・海外への販路拡大、木質バイオマスエネルギーの原材料となる林地未利用材の安定供給体制の構築などを通じ、建築分野をはじめとした様々な分野で地域材の需要を拡大・創出する取組を進めます。

また、生産性の向上を図る加工流通施設の整備などにより、木材産業の競争力の強化を図る取組を進めます。

原木の安定的な供給体制の構築、地域材の利用促進

- ◎ 合板・製材・集成材生産性向上・品目転換促進対策事業 2,997,985千円 (H30繰越)
- ◎ 林業・木材産業構造改革事業 915,669千円
 - ・木材の利用拡大や安定的・効率的な供給を図るための機械・施設の整備への支援
- ◎ 道産建築材供給力強化対策事業 2,519千円
 - ・トドマツなど人工林材の建築材等での利用拡大を図るための供給力強化のモデル実証
- ◎ 道産木材製品プロモーション事業 11,286千円
 - ・道産木材製品の道外・海外への販路拡大に向けたプロモーション活動の実施
- ◎ 道産CLT利用促進事業 10,968千円
 - ・CLTに係る設計・建築技術者の育成やセミナー・イベントによるPRの実施
- ◎ 木質バイオマス資源活用促進事業 17,401千円
 - ・林地未利用材の集荷手法の普及や林業機械レンタルによる集荷モデルの実証等
- ◎ その他の主な取組
 - ・北の「木づかい」運動の展開 ・道産木材利活用対策事業
 - ・林業成長産業化地域創出モデル事業



KOREA BUILD 2019



林地未利用材集荷手法の検証

○「北海道の木育」の推進

地域の木育活動に関するアドバイザーやコーディネーターの役割を担う木育マイスターと連携した木育活動に取り組むとともに、商業施設におけるイベント開催や、子育て支援、教育における木育の推進など、木育の道民運動としての推進に取り組みます。

「北海道の木育」の推進

- ◎ 木育推進事業費 7,398千円
 - ・子育て支援、教育における木育の推進
- ◎ 北海道植樹の日・育樹の日推進事業費 13,351千円
 - ・植樹の日及び育樹の日の普及啓発、北海道・木育（もくいく）フェスタ（北海道植樹祭・育樹祭、木育ひろば in チ・カ・ホ、道民森づくりの集いなど）
- ◎ 道民との協働の森づくり推進事業費 14,919千円
 - ・ふれあいの小径整備、木育の情報発信など
- ◎ その他の主な取組
 - ・「希望」を「きぼう」でプロジェクト



木育ひろば in チ・カ・ホ

(水産林務部林務局林業木材課林業木材グループ、水産林務部森林環境局森林活用課木育グループ)